



福岡医発第2036号(地)
平成23年 1月14日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公 印 省 略)

日本医療機能評価機構「医療事故情報収集等事業医療安全情報」及び
医薬品医療機器総合機構「PMDA 医療安全情報」の送付について

平成23年1月14日付け福岡医発第2035号(地)にて日本医療機能評価機構・医療事故収集等事業第23回報告書が公表された旨ご連絡しておりますが、今般、同機構により警鐘事例をカラーで分かり易く解説した「医療事故収集等事業医療安全情報」が作成・公表された旨、日本医師会より別添のとおり通知がありました。

また、医薬品医療機器総合機構(PMDA)においても同様に「PMDA 医療安全情報」が作成・公表されております。

つきましては、別添「医療事故収集等事業医療安全情報」(No.47~49)及び「PMDA 医療安全情報」(No.20)が下記のホームページからダウンロードできますので、会員各位に対し、医療安全対策の推進にご活用いただきますよう周知方お願い申し上げます。

記

- ・ 日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業 報告書 URL
<http://www.med-safe.jp/contents/info/index.html>
- ・ 医薬品医療機器総合機構 PMDA 医療安全情報 URL
http://www.info.pmda.go.jp/anzen_pmda/iryo_anzen.html

(法安 76)

平成 23 年 1 月 6 日

都道府県医師会
医療安全担当理事殿

日本医師会常任理事
高 杉 敬 久

日本医療機能評価機構「医療事故情報収集等事業医療安全情報」及び
医薬品医療機器総合機構「PMDA 医療安全情報」の送付について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて平成 23 年 1 月 5 日付・日医発第 945 号（法安 75）において日本医療機能
評価機構・医療事故収集等事業第 23 回報告書を本会会長より貴会会長宛お送り
したところです。

同機構ではこれらの統計に基づき、警鐘事例をカラーで分かり易く解説した「医
療事故情報収集等事業医療安全情報」を作成・公表しています。また、医薬品医
療機器総合機構（PMDA）でも同様に「PMDA 医療安全情報」を作成・公表して
います。

つきましては別添の通り、「医療事故情報収集等事業医療安全情報」（No.47～
49）及び「PMDA 医療安全情報」（No.20）を 1 部ずつお送りいたします。下記
ホームページに掲載していますので、貴管下会員へのご周知方宜しくお願い申し
上げます。

記

・ 日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業 医療安全情報の URL
<http://www.med-safe.jp/contents/info/index.html>

・ 医薬品医療機器総合機構 PMDA 医療安全情報の URL
http://www.info.pmda.go.jp/anzen_pmda/iryo_anzen.html

以上



財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業

医療 安全情報

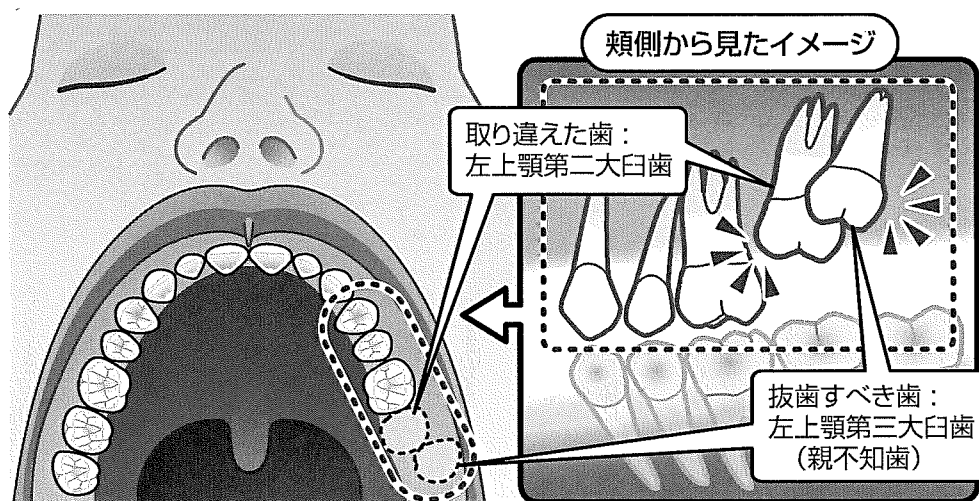
No.47 2010年10月

拔牙部位の取り違い

歯科において、拔牙部位を取り違えた事例が11件報告されています(集計期間: 2007年1月1日~2010年7月31日、第15回報告書「共有すべき医療事故情報」に一部を掲載)。

**拔牙する部位を取り違えた事例が
報告されています。**

事例1のイメージ図



◆報告されている11件のうち9件は、隣の歯との誤認によるものです。

〔拔牙部位の取り違い〕

事例 1

歯科医師は埋伏している左上顎第三大臼歯(親不知歯)を抜去予定であったが、左上顎第二大臼歯が萌出遅延により埋伏していたため誤解し、抜いている最中に間違いに気付き、復位固定した。

事例 2

歯科医師は、左上顎第一小臼歯および左上顎第二大臼歯の拔牙手術の予定であったが、左上顎第一大臼歯が欠損していた事から視覚的に、左上顎第二小臼歯を左上顎第一小臼歯と思い込み、左上顎第二小臼歯と左上顎第二大臼歯を拔牙した。

事例が発生した医療機関の取り組み

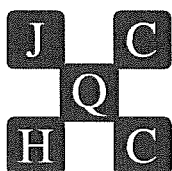
- ・事前に拔牙する部位の位置や形態を局所的に十分観察し、さらに各種画像所見と十分に照らし合わせて確認する。
- ・事前に、拔牙する部位を患者と共に確認する。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。

<http://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。



財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<http://www.jcqhc.or.jp/html/index.htm>



財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業

医療 安全情報

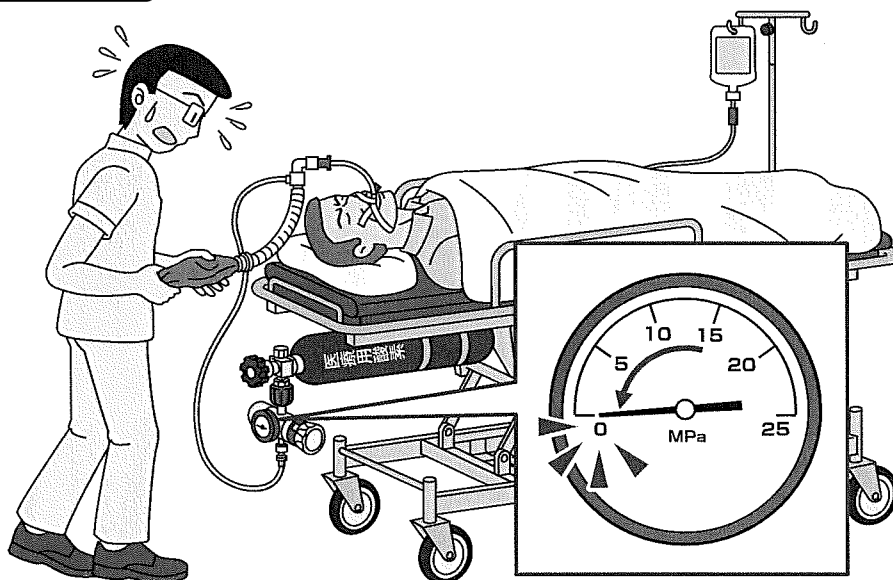
No.48 2010年11月

酸素残量の未確認

酸素ボンベ等の残量の確認に関連した事例が6件報告されています。(集計期間: 2007年1月1日～2010年9月30日、第17回報告書「共有すべき医療事故情報」(P183)一部を掲載)。

移動の際に使用した酸素ボンベの残量がゼロになったため、患者の呼吸状態に影響があった事例が報告されています。

事例のイメージ



酸素残量の未確認

事例

人工呼吸器装着中の患者を検査室へ移送する際、ジャクソンリース回路による人工呼吸を行っていた。検査室に到着後バッグのふくらみが悪くなったので、酸素ボンベを確認したところ、酸素の残量が無いことに気付いた。ボンベを交換している最中に心肺停止状態となり、救急蘇生を実施した。使用前に酸素ボンベの酸素残量の確認を怠っていた。

事例が発生した医療機関の取り組み

- ・酸素ボンベ使用開始時には、圧力計で酸素の残量を必ず確認する。
- ・使用中にも随時、圧力計で酸素の残量を確認する。

参考)酸素ボンベ使用可能時間(分)の一例

		圧力計の表示(MPa)					
		14	13	12	11	10	9
酸素流量 (L/分)	1	490	455	420	385	350	315
	2	245	228	210	193	175	158
	3	163	152	140	128	117	105
	4	123	114	105	96	88	79
	5	98	91	84	77	70	63
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
	10	49	46	42	39	35	32

※酸素ボンベの使用可能な時間の目安をお示ししています。

※換算式は、酸素使用可能時間[分]=ボンベ容積[L]×圧力計の表示[MPa]×10／酸素流量[L／分]を使用しておりますが、他の換算式もあります。

※酸素ボンベの容積を3.5Lとして計算しています。

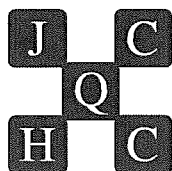
※ボンベ内に残る酸素の量が含まれています。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。

<http://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。



財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<http://www.jcqh.or.jp/html/index.htm>



財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業

医療 安全情報

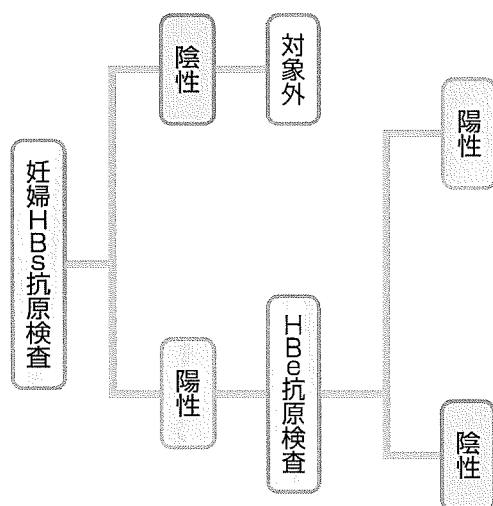
No.49 2010年12月

B型肝炎母子感染防止対策の 実施忘れ

B型肝炎ウイルスキャリアの母親から生まれた児に対し、出生直後の抗HBsヒト免疫グロブリン(HBIG)投与のみが行われ、B型肝炎ワクチン(HBワクチン)投与が行われなかった事例が6件報告されています(集計期間:2007年1月1日~2010年10月31日、第20回報告書「個別のテーマ」に一部掲載)。

B型肝炎ウイルスキャリアの母親から生まれた児に対して、プロトコールに従った母子感染防止対策の実施がされなかった事例が報告されています。

B型肝炎母子感染防止のプロトコールの概略



子供のスケジュール

月	出生時	1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月
接種							
HBワクチン							
HBIG							
検査							
HBs抗原							
HBs抗体							

月	出生時	1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月
接種							
HBワクチン							
HBIG							
検査							
HBs抗原							
HBs抗体							

(厚生労働省、B型肝炎について(一般的なQ&A)に基づき作図)

*は省略することができる。

は接種を示す 是検査を示す

「B型肝炎母子感染防止対策の実施忘れ」

事例

産科医は、B型肝炎ウイルスキャリアの母親から出生した児に、出生の翌日、小児科医にHBIG投与を依頼した。産科医は、一般の1ヶ月検診と、HBワクチン接種を担当する小児の消化器専門外来を予約するところ、一般の1ヶ月検診のみ予約した。そのため、児は一般の1ヶ月検診のみを受けた。1年後、児の母親が他院のパンフレットを見てB型肝炎母子感染防止対策について疑問をもち、当院小児科外来に問い合わせた。確認すると、プロトコールに則ったHBワクチン接種対応がされていないことがわかった。

B型肝炎母子感染防止対策について、厚生労働省より通知等が出されています。

雇児母発第0427001号

平成16年4月27日

厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課 事務連絡 平成21年12月4日

厚生労働省、B型肝炎について（一般的なQ&A）平成20年4月改訂 改訂第3版。

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou09/documents/faq_HepatitisB.pdf

事例が発生した医療機関の取り組み

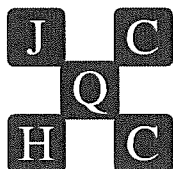
- ・出生した児の情報について、分娩を担当した産科医のみならず、児に関わる小児科医等と共有し、連携を図る。
- ・B型肝炎母子感染防止対策についての文書を作成し、出生前に母親に十分説明をする。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業（厚生労働省補助事業）において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。

<http://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。



財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<http://www.jcqh.or.jp/html/index.htm>

PMDA 医療安全情報

(独)医薬品医療機器総合機構

Pmda No.20 2010年 11月

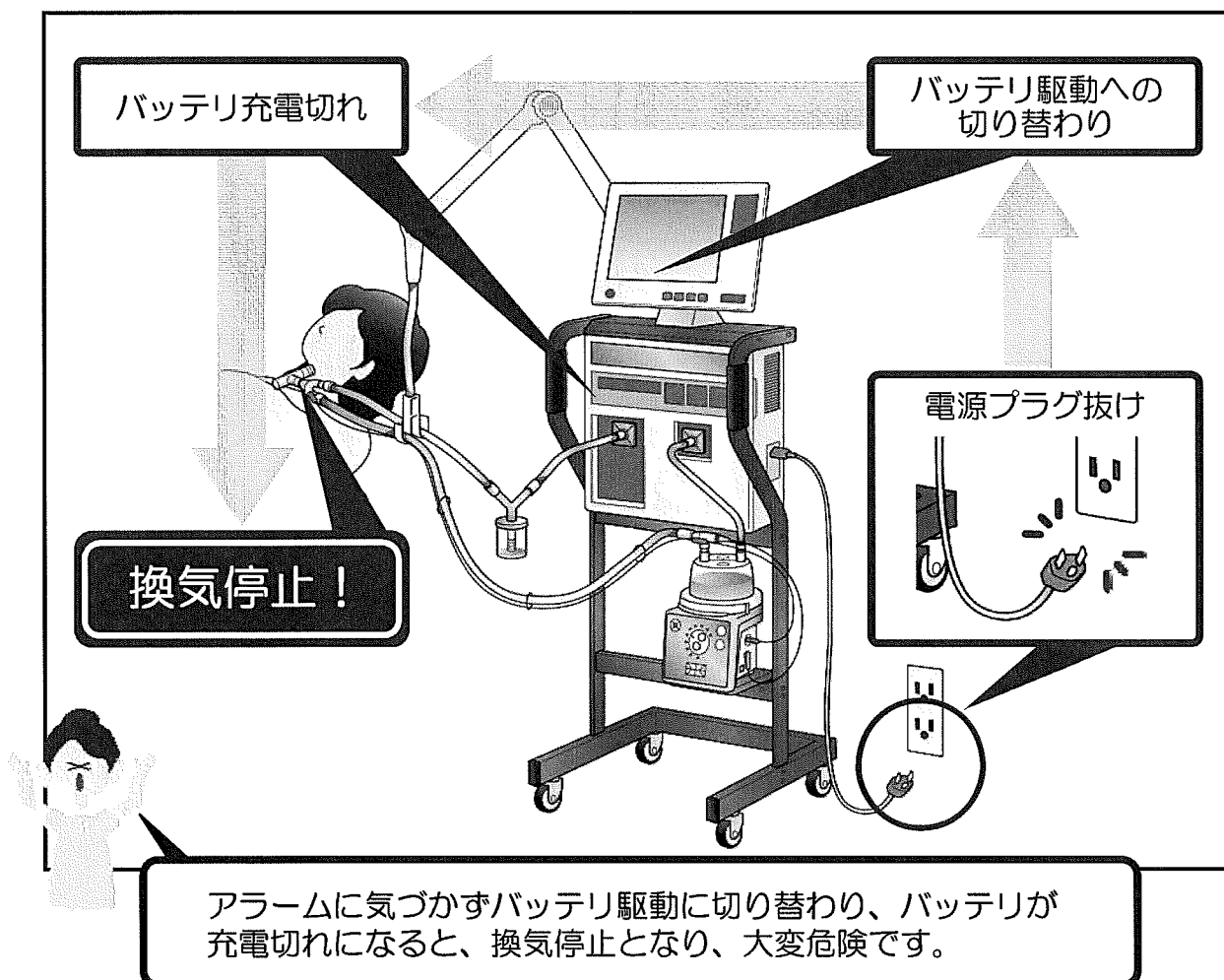
人工呼吸器の取扱い時の注意について（その3）

POINT 安全使用のために注意するポイント

（事例 1）人工呼吸器を使用中、気づかぬうちにバッテリー駆動になっており、バッテリー切れアラームが発生し、換気が停止した。確認するとコンセントから電源プラグが抜けていた。

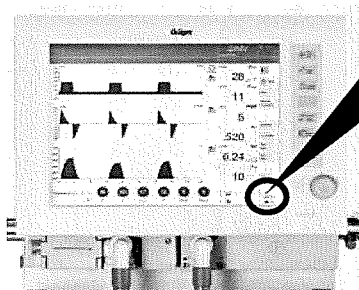
1 使用中の電源に関する注意点について

- 人工呼吸器を使用中には、AC電源が供給されていることをインジケータなどの表示で常に確認すること。



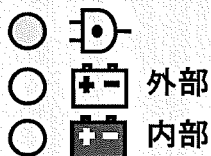
使用中の電源の表示例 (1)

ドレーゲル・メディカル ジャパン (株)



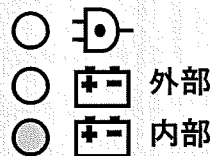
Evita XL

AC駆動中



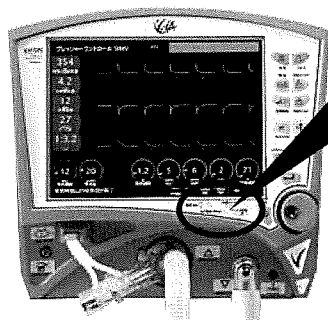
AC電源ランプが点灯し
内部バッテリーランプが消灯中

バッテリー駆動中



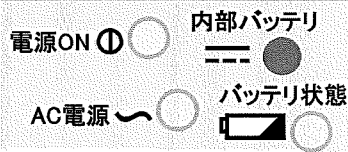
AC電源ランプが消灯し
内部バッテリーランプが点灯中

アイ・エム・アイ (株)



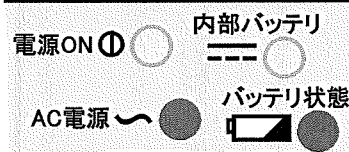
人工呼吸器Tバードシリーズ
(VELA)

AC駆動中



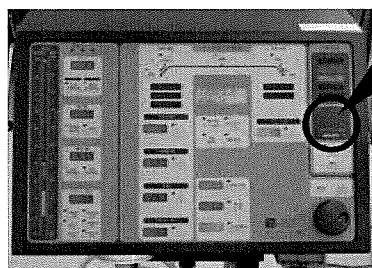
AC電源ランプが点灯し
内部バッテリーランプが消灯中

バッテリー駆動中



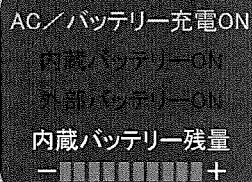
AC電源ランプが消灯し
内部バッテリーランプが点灯中

コヴィディエン ジャパン (株)



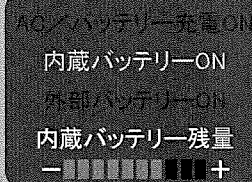
PB740

AC駆動中



AC/バッテリー充電ONインジケータが点灯し
内蔵バッテリーONインジケータが消灯中

バッテリー駆動中



AC/バッテリー充電ONインジケータが消灯し
内蔵バッテリーONインジケータが点滅中

このように、使用中の電源の表示は製品によって様々です。
使用中の製品の「どこに、どのように」表示されるのか、
あらかじめ確認しておきましょう！

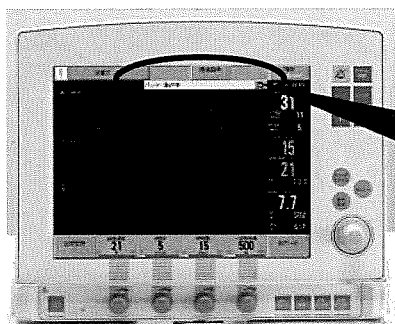


使用中の電源の表示例 (2)

画面上にバッテリーで駆動中であることをメッセージとして表示している製品もあります。



フクダ電子 (株)



サーボベンチレータシリーズ Servo-i

AC駆動中

〔使用中の電源に関するメッセージはなし〕

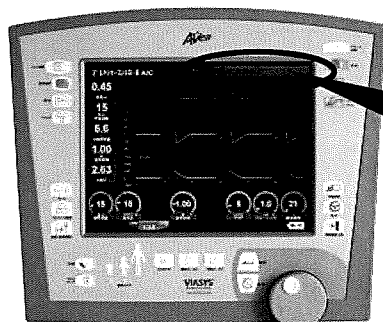
バッテリー駆動中

バッテリー動作中



〔 AC電源が遮断され、バッテリー駆動中であることを表示 〕

アイ・エム・アイ (株)



アヴェア ベンチレータ

AC駆動中

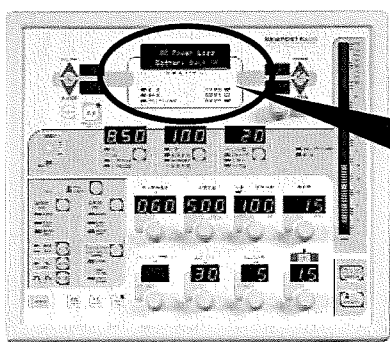
〔使用中の電源に関するメッセージはなし〕

バッテリー駆動中

AC電源停止

〔 AC電源が遮断され、バッテリー駆動中であることを表示 〕

(株) 佐多商会



ニューポートベンチレーター
モデルe500ウェブ

AC駆動中

〔使用中の電源に関するメッセージはなし〕

バッテリー駆動中

AC Power Loss
Battery Back Up

警 報 & メッセージ

- | | |
|------------|------|
| ● 患 者 | ガス供給 |
| ● 操作者 | 電源異常 |
| ● バックアップ換気 | 装置警告 |

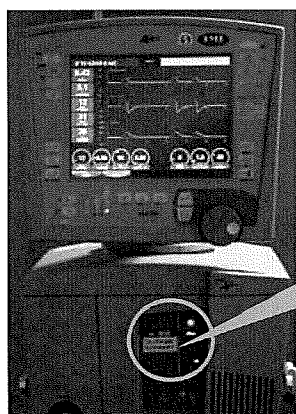
〔 AC電源が遮断され、バッテリー駆動中であることを表示 〕

2 電源表示の見落とし防止対策の例について

電源表示の見落とし防止のため、電源表示箇所に以下のようなシールを貼るなどの工夫をすると、気づきやすいですよ！



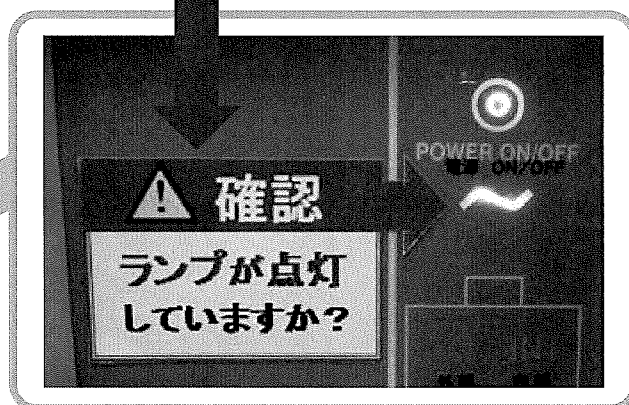
コヴィディエン ジャパン(株)
PB840



アイ・エム・アイ(株)
アヴェア ベンチレータ



シールの貼付け例



本情報の留意点

- * このPMDA医療安全情報は、財団法人日本医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業報告書及び薬事法に基づく副作用・不具合報告において収集された事例の中などから、独立行政法人医薬品医療機器総合機構が専門家の意見を参考に医薬品、医療機器の安全使用推進の観点から医療関係者により分かりやすい形で情報提供を行うものです。
- * この情報の作成に当たり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
- * この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではなく、あくまで医療従事者に対し、医薬品、医療機器の安全使用の推進を支援する情報として作成したものです。